

# 20分で行く 荻窪の昭和

～井伏・太宰、荻外荘～

現在、杉並区立郷土博物館分館（杉並区天沼3-23-1）にて、「NPO法人すぎなみ学びの楽園」の実施する「20分で行く 荻窪の昭和 ～井伏・太宰、荻外荘～」という展示会がひらかれています。2020年の東京オリンピックまで、あと5年。他県や海外から東京を訪れる人もさらに増えそうな中、荻窪のまちの魅力を伝えられる場所があったらいいのではとの思いから、期間限定ではありますが、「荻窪ビジターセンター」を作ったそうです。この展示会を起点に、文化の薫り高い荻窪を再発見してみたいかがでしょうか。

荻窪のまちは、観光地とは言えないものの、実は文士たちの旧居跡や歴史の舞台となった館など、昭和の香りを残す文化スポットが多くあります。これらが荻窪駅から徒歩20分以内で訪ねることができるのであれば、驚く方も多いのではないのでしょうか。この展示会は「荻窪ビジターセンター」を兼ねており、実際まち歩きにつながるように、エリアごとにおすすめのスポットを紹介しています。



展示は、荻窪周辺を三つのエリアに分けています。まず一つ目、「荻窪ノースコーナー」は、荻窪の北側にスポットライトをあて、井伏鱒二、太宰治をはじめ多くの文士たちをテーマとしています。二つ目、「荻窪セントラルコーナー」は、荻窪駅周辺にスポットライトをあて、まちづくりをテーマとしています。三つめ、「荻窪サウスコーナー」は、荻窪の南側にスポットライトをあて、荻外荘（旧近衛文麿邸）、大田黒公園（旧大田黒元雄邸）、角川庭園（旧角川源義邸）の魅力を探るコーナーとなっています。

また、これらの三つのコーナーの理解をさらに深めるための「荻窪の魅力」DVDコーナーのほか、井伏、太宰が将棋をさしている写真が飾られた将棋コーナー（実際に将棋を楽しむこともできます）、畳にちゃぶ台が置かれ、「荻窪の魅力すごろく」や杉並区発行の「すぎなみ詩歌館かるた」などで実際に遊ぶことができる、荻窪遊びコーナーなどがあります。

今回の展示会を記念して作曲された荻窪賛歌「故郷は荻窪」<sup>ふるさと</sup>を試聴するコーナーもあります。「故郷は荻窪」はジャズピアニスト山下洋輔さんの兄である山下啓義さんの作詞、田部望さんの作曲で、まさに杉並区民の手作りの曲です。

この展示会を起点に、文化の薫り高い荻窪を再発見してみたいかがでしょうか。

展示についてより理解を深めるための、関連イベントも予定されています。別紙をご参照ください。

## 20分で行く 荻窪の昭和 ～井伏・太宰、荻外荘～

場 所：杉並区立郷土博物館分館 西棟 1階展示室  
杉並区天沼3-23-1（天沼弁天池公園内）

会 期：平成27年3月29日（日）まで

開館時間：9：00～17：00

休 館 日：毎週月曜日・毎月第三木曜日（祝日、休日の場合は翌日が休館）

観 覧 料：無料

【問い合わせ先】

杉並区郷土博物館 分館 電話5347-9801